（様式1）

　　令和　　年　　月　　日

令和７年度滋賀県アートコラボレーション事業　ホールプロデュース部門 企画提案書

 提案者 所在地 〒

 団体名

 代表者名 ㊞

 （担当者　　　　　　　　　　　　　　　）

令和７年度 滋賀県アートコラボレーション事業について、関係書類を添えて提案します。

【団体の概要】※以下にチェックをつけてください。

□ホール管理者　□実行委員会　□法人格を有する団体　□任意団体　□その他（　　　　　　　）

【応募企画】　※以下のいずれか、あるいは両方にチェックをつけてください。

□　県内文化ホールで開催する舞台芸術公演

□　アウトリーチ、ワークショップ、クリニックなどの普及・育成事業

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| ジャンル |  |
| 実施会場 |  |
| 実施時期 | ※未定の場合は、いつごろ決定するかをご記載ください。 |
| 事業内容 |  |
| 入場料金 |  |
| 入場者見込数（参加者） |  |
| 出演者・団体 |  |
| 曲目・演目 |  |
| 広報の方法 |  |
| 主催者等（共催、後援、協力等の表記） |  |

■事業内容　（記載内容をもとに「実現可能性」を審査します。）

■この事業を実施したいと考える理由は何ですか？

（記載内容をもとに「必要性」・「発展可能性」を審査します。）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の背景、申請に至る経緯、現在の課題 |  |
| 事業の目的、期待する効果や変化、今後の展望 |  |

■事業に関わる地域の団体、創作者などの名前を記載してください。（記載内容をもとに「波及性」を審査します。）

　※　出演者、参加者、協力者、支援者など、なるべく具体的に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名・団体名 | 役割 |
|  |  |

■この事業のアピールポイントは何ですか？（記載内容をもとに「チャレンジ性」を審査します。）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の独創性、地域や提案者にとってこの事業のチャレンジしている点や工夫している点　など |  |
| 提案者が継続的に実施してきた事業の場合は、今回特に協働を希望する理由 |  |

■どのような情報保障をつけますか？　下記の該当するものに○で囲ってください。

　手話通訳・日本語字幕・ヒアリングループ・点字パンフレット・音声案内

・カームダウンスペースの用意・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・財団に相談したい

■申請者が文化ホールでない場合は、どのようにホールの協力を得られるか、記載してください。※申請者が文化ホールである場合は、下記は空欄で構いません。

|  |  |
| --- | --- |
| 文化ホールに事業内容を相談しましたか？　事業内容に対する文化ホールのコメントを簡単に記入してください。 |  |
| 事業の運営にあたり、文化ホールからどのような協力を予定していますか？　確定している内容と計画段階の内容、いずれかわかるようにご記入ください。 |  |